

小谷小学校 臨時保護者会

- ・ 日時 2026年3月22日(日)15:00~
 - ・ 場所 寒川町立小谷小学校体育館
 - ・ 参加者 190名
 - ・ 司会 高橋指導主事(学校教育課)
 - ・ 出席者
 - 花山 教育長
 - 小林 校長
 - 上村 学校教育課長
-

Ⅰ 寒川町教育委員会より(教育長からのお詫びと再発防止に向けた取り組み)

(1) 教育長からのお詫び

寒川町立小学校教員による不適切な行為により、児童及び保護者の皆様の信頼を裏切った行為であることにまず深くお詫びを申し上げます。これまで町立学校の全職員と保護者の皆様はもちろん、児童とともに一生懸命作り上げてきた信頼関係を瓦解させてしまいかねない事態に至ってしまったことについては、悔しさとともに憤りを禁じえません。町教育委員会としては、学校とともに今後二度と不祥事を起こさない、という決意をしっかりと胸に刻みつけた上で、改めまして学校を再構築していく方策をしっかりと練ってまいりたいと考えております。

(2) 事件の概要

小谷小学校の藤井幸太郎教諭が、令和8年3月6日(金曜日)、校内において女子児童のスカートの中をスマートフォンで盗撮し、性的な姿態を撮影する行為等の処罰法及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律違反の容疑で、逮捕されました。この件に関しては、現在も警察が捜査中です。

(3) 再発防止に向けた取り組み

① 児童生徒の心のケアを最優先事項で取り組みます。

町教育委員会から臨床心理士2名、県教育委員会からスクールカウンセラースーパーバイザー1名を配置し、いつでも相談できるよう相談体制を強化します。また、児童だけでなく保護者の皆様も相談することができます。

3月25日(水曜日)の修了日からは春休みに入りますが、町教育委員会にて対応さ

させていただきます。

②改めて教職員の私物スマートフォンの教室への持ち込み禁止ということを徹底してまいります。

③寒川町の教職員の研修を通して倫理感を高め、服務規律についても、しっかりと取り組んでまいります。

(お願い) 寒川の教育に対して、お気づきの点があれば、ぜひおっしゃってください。保護者の皆さんと一緒に作っていく、もう一度作り上げていくということをぜひさせていただきますればありがたいと思っています。

(4) 現時点での被害の情報

小谷小学校での被害児童は1名であり、その被害児童本人は、盗撮されたことに気づいておらず、今も知らない状態です。被害児童の保護者様には警察からすでにご連絡をしていると、警察から聞いております。今この場にお集まりの保護者の皆様には、警察からご連絡が入っていないということは、「自分の子は被害者ではない。」と判断していただければと思います。

(5) 二次被害を起こさないためのお願い

被害児童を全力で守っていくために、保護者の皆様にご協力をしていただきたいお願いがございます。それは、「被害児童はだれだろう。」等と、保護者間やお子さん同士で詮索をしないでいただきたいと思います。今、被害児童本人は盗撮されたことを知らず、いつもと変わらず、毎日楽しく元気に登校しております。被害児童を特定することで、子どもを傷つけてしまい、子どもの将来を奪うことはあってはならないことです。二次被害を防ぐために、ぜひともよろしく願います。

保護者の皆様、そして私、学校全教職員、全ての大人で、子どもたちのために何ができるのかを考え、そして大人としてどういう行動を取るのかということが、今私たちに求められているということをしっかりと肝に銘じて、改めて全職員と共に信頼のある学校づくりに努めてまいります。

(6) 学校長からのお詫び

この度は、本校の教員がこのような不祥事を起こしてしまい、大変申し訳ございませんでした。何より先に、被害に遭われた児童とその保護者様には、心よりお詫び申し上げます。そして、小谷小学校の全児童とその保護者の皆様に、多大な心配、不安、憤りを感じられるような事態を招いたことに、深くお詫び申し上げます。

今までも、職員にはスマートフォンの持ち込み禁止を含めサービス徹底を行ってきましたが、結果的にできていなかったところに、学校長としての責任を感じております。

今後、このようなことが二度と無いように、町教育委員会のご指導のもと、私と本校全職員で徹底してまいります。そして、再度、保護者の皆様の信頼を得られますよう、子ども達が、より安心して安全な学校で学べるよう、誠心誠意努めてまいります。

先ほども教育長のお話がありましたとおり、被害児童を含め全児童が本校で今まで通り、楽しく前向きに学校生活を送れるようにして行くことが使命だと思っております。

明日の朝、子ども達には私、教頭から謝罪するとともに、被害児童の詮索や憶測で話しをしないことを伝えます。この小谷の子ども達がまた明るく楽しく生活できるように皆様にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

本年度は明日から3日間ではありますが、県教育委員会、町教育委員会のご協力のもと、全面的に子どもの心のケアに努めると同時に、全職員で子ども達を見守る体制をとります。心配なご家庭、お子様がいらっしゃいましたら、教職員にお声かけください。

この度は本当に申し訳ございませんでした。

2 質疑応答での主な内容

Q1 小谷小学校の被害児童1名なのか。逮捕された教員について、いつ寒川に来て、いつ小谷小に来たのか。

⇒1名です。

⇒(課長)平成27年4月から寒川町立一之宮小学校で3年間、平成30年4月から寒川町立寒川小学校で7年間、そして令和7年4月から寒川町立小谷小学校では、今年の3月で1年間です。

Q2 被害児童1名は寒川町なのか。それと事件発覚の情報や保護者から問題やトラブルについての申し出があったか。

⇒小谷小学校です。兆候についてはございません。教育委員会としては報告も受けておりません。ただ、授業等の指導力については、時々指導する必要があると聞いておりました。その都度、教育委員会でも指導してきている結果がございます。

Q3 寒川小学校では、藤井先生が児童に対して接触がすごく多いと学校にクレームがあったと聞いていたがそれはなかったのか。

また、小谷小学校では最初、5年生の社会の担当だったが、たけのこ級に変わったのは何故か。

⇒兆候については申し上げた通りですが、性的な部分に関わるような問題について教育委員会に報告があがってくるというような事案は聞いておりません。
⇒(校長)今年度、本校に着任してから、社会の授業をやっておりません。
⇒たけのこ級の教員の配置については、適正であるか等のバランスを考えながら、教員のコンビネーションも見極めながら配置をしているところでございます。

Q4 スマートフォンから写真が発見されたことで、学校で使っているタブレットの写真を送った可能性はあったか。

⇒警察の方は、スマートフォンを没収して、解析を行っているそうです。
画像については報告を受けておりませんので分かりかねます。

Q5 今回は自分の通っていた学校で、しかも担任の先生といったところで、ショックは受けているところがあります。先ほどの保護者の方もご質問があったかと思うのですが、この学校で被害児童の子がまた増えるかもしれないけど、0%ではない。ということをお話されていました。あくまでネットのニュースなのでちょっとわかりませんがなんでやったとか、何年かやっているとか、そういう話とかも、ネットで見ている方もいらっしゃると思います。それを考えると、寒川小学校でそういう話があったとか、今後もしそういったことが寒川小学校であったといったことであれば、必ず寒川小学校でも、必ず子どものケアとかを絶対にやって欲しいということと、本当に、子どもの安心安全が大事だと思います。そこをしっかりとやっていただきたい。やっぱりみんな子どもが心配でここに来ていると思います。

あと自分が強くお願いしたいのは、小林校長が話されてよくわかったのですが、大半の先生方は子どもに絶対気持ちを持って仕事をしてらっしゃるし、それを感じることはいっぱいあります。そういう先生の気持ちとか、先生が子どもに対してどう接してくれているのか、それがすごく良く分かっていて、だからこそ、すごくショックだったし、ちょっとお名前出してしまうとあれですけど、〇〇先生がすごく心配で、子どものケアもそうなのですが、頑張っている先生のケアも教育委員会の方にもトップに立ってやってもらいたいというのが自分の気持ちです。子どもも大事だけど、一生懸命頑張っている先生がこんなことで、嫌な思いをするような小谷小学校ではあってほしくないの、そこは強くお願いしたいです。

⇒ありがとうございます。お父さんの気持ち重く受けとめて参りたいと思います。また小谷小学校への気持ちを今日お話いただいて、非常に温かいメッセージも本当にありがとうございます。教育委員会としても、小谷小学校の教職員を守っていきたい、保護者の皆さんや子どもたちだけでなく、同僚もダメージを受けている疑いがあります。なので、指導主事を派遣して、教職員についても見守りケアを行っていく予定であります。

それからご心配いただいた寒川小学校ですが、子どもたちに対しては、明日行う小谷小学校と全く同じ体制で、専門家が行き、見守りケア体制を作ります。保護者への説明会は、寒川小学校については明日の18時から、寒川小学校の体育館で行っていきます。

⇒(校長)ありがとうございます。子どもたちの安心安全のために我々教員が全力でやるしかありませんが、保護者の皆さんや他の教員のケアも含め、私も先生方に寄り添いながら、全員で前を向いてできるようにしっかりと話をしていきたいし、たけのこ級の子どもたちもすごくショックを受けていると思います。すごく感じやすい子どもたちで、すごく分かる子たちなので、その子たちにも明日しっかりとお話して、その学年によって理解できる形が違うと思いますけど、お話をさせていただくと同時に、町の心理士さん、スーパーバイザーさんが一緒に立ち会っていただけることになっていますので、チームを組んできてやっていきたいと思っています。

Q6 個人的なスマホについて、具体的な対策方法が決まったときに、保護者の方に知らせることがあるのかお聞かせください。

⇒私物のスマートフォンの職員室外部持ち出し厳禁について、現在考えていることは、管理職や指導主事と教育委員会が、今まで以上に巡回体制をとりわけ小谷小学校については強化する回数を増やす、教室の中に管理者の目が増えていくというような状態を作りたいと思います。

Q7 1年生から5年生までの児童に謝罪をすと言っていました、卒業した6年生に対してどういう考えているのか。

⇒明日付で寒川町長名それから寒川町教育委員会教育長名のメッセージという形で出させていただきます。それについては手元に届くような形をとらしていただきたいと思っております。

Q8 紙での謝罪ということですね。

⇒卒業していることで、それ以上の対応ができませんが、ご理解をいただきたいと思えます。

⇒(校長)学校に電話いただくなり、教育委員会の方にお電話いただいて、心理的ケアができると思います。今のところ申し訳ないですが、6年生を集めるということは考えていませんが、子どもたちの声をしっかり聞いて、必要であればまた別の形を考えさせていただきます。

Q9 令和4年の段階で、わいせつ事案で懲戒解雇の職員がいらっしゃるというのを教

育委員会の議事録を拝見し、初めて知りました。その段階でどのようなことを先生方に教育委員会として行われたかということを確認したいです。

あともう1点、被害児童1名以外の被害児童がいるのではないかという姿勢で、受けとめる体制を学校側と教育委員会は取っていただく必要があるのではないかなと感じるのですが、どうでしょうか。

⇒神奈川県教育委員会からのスクールカウンセラースーパーバイザーはかなり専門性の高い方です。明日は1日中、待機をしていただき、各学級担任の児童の見守り、特別なケアが必要だった場合、直ちに対応に入っていただくというふうに考えております。町の臨床心理士についても配置をしていく予定であります。令和4年の事案については、当時の町の教育委員会の思いを受け止めながら、各学校への指導を行っています。不祥事の様々な対策会議を定期的に各学校で持ちながら、校長教頭を中心に、それぞれの時期に考えられるよう、性事案以外のリスク管理についても指導の徹底を強めているところでございます。また、集合研修や服務規律についての研修も行ってきているところでございます。

Q10 明日、子どもたちに校長先生の方からどのような説明とどのような謝罪をするのか事前に知りたい。

⇒(校長)ありがとうございます。1・2年生と3・4・5年生を別にして、1・2年生の内容、3・4・5年生にはもう少し具体的なお話をしようと思っています。今のところ考えていることと今準備をしていることを読み上げさせてもらってよろしいでしょうか。

1・2年生のお話をさせていただきます。おはようございます。今年度もあと3日となりましたね。朝から残念なお話をしなくてははいけません。おうちの人から聞いている人もいると思いますが、たけのこ級の藤井先生が悪いことをして警察につかまりました。先生として、そして人としてやってはいけないことをしてしまいました。今、不安な気持ちや心配なことがある人はおうちの人、担任の先生、そして学校の先生に話してみてください。きっと心がすっきりします。

小谷小学校の先生たちは、みなさん気持ちを大切にします。こんなつらい思いをさせて本当にごめんなさい。いつもと変わらないいつも通りの1日を友達と先生たちと一緒に過ごしましょう。

3・4・5年生のみなさんおはようございます。今年度もあと3日となりました。ニュースや新聞で報道され、おうちの人から聞いている人もいると思いますが、たけのこ級の藤井先生が個人のスマートフォンで許可なく撮影した罪で逮捕されました。先生として、そして人として許されない行為をし、小谷小学校の皆さんを不安にさせた藤井先生に私たちは怒りを感じています。

年度末の大切なこの時期にみなさんを不安な気持ちにさせてしまったこと本

当に申し訳なく思います。ごめんなさい。

今、不安な気持ちを抱え、心配なこともあるかもしれません。そのようなときは、自分の心の声を家族、担任の先生、そして学校の誰でもいいので話してみてください。小谷小学校には、たくさんの相談ができる大人がいます。不安なことや心配なこと、自分一人で抱え込まず、誰でも良いので話してみてください。きっと心が楽な気持ちになります。

みなさんにお願いがあります。普段からも伝えていますが、本当のことか分からないことや噂話などを話したり、伝えたりすることはやめてください。普段と変わらない、いつも通りの1日を友達と先生たちと過ごすためにもお願いします。小谷小学校の先生たちは、みなさん気持ちを大切にします。今、考えているのはこのような形で子どもたちに話をしたいと思っています。

Q11 先生たちが開かれた環境の中で報告や話しやすい環境が整っているのかということをお伺いしたい。

⇒ご指摘のように、教育委員会、学校長、教職員というところで、監督指導が成り立っていますが、同僚の間で、非常に緊密な連携を図らないと、教師という仕事を進めることができないと思っています。ですからお互いが連携しながら仕事をするため、非常に他の業種に比べて連携は多い状況になっております。日頃からの校長を通して、先生方同士のクラスの関係性づくりも、お互いのリスク管理や服務規律遵守についても、お互いに励まし合いながら、チェックというわけではありませんが、相互機能を果たしていくようお願いはしてきているところです。それから企業のように、電子でもってコンプライアンス上の通知をするというシステムは学校にはございません。幸い児童の数の大きさや組織の規模の割には、校長教頭に対して教職員がちょっとすいません、お話があるんですけどもってという呼びかけは他業種に比べるとしやすいと思います。個別の部屋もたくさんありますし、その中で秘匿性を守りながらリスク管理を図っていくということは、現時点では可能な条件であると考えております。しかし、ご指摘のように開かれた形で、さらにもっとすぐれた通報システムができるのかということも含めて、今後、検討課題にして参りたいと思います。

Q12 今後〇〇先生の異動があるかどうか、一番心配で、そちらを聞かせていただきたいというのがあります。

⇒たけのこ級についてお子様、保護者様にご心配をおかけして申し訳ありません。教職員の人事に関して言うと、通常あるないを含めて、つまびらかにすることはできませんが、こういう特別な状況という関係がありますので、〇〇先生については異動させません。

Q13 今後の進捗や本件の進捗に関する保護者への共有する方法をお聞きしたいです。逮捕された方の警察からの発表や裁判について。また、監視の強化が十分なのか。そういった本件に対する対応という部分について、どんな形で共有していただけるのかをお聞きしたいです。

⇒この後色々な展開が進んでいくと思われませんが、次にご報告する局面というのは、藤井教諭の処分について、最終的に決定したときです。処分は県教育委員会が行いますが、処分のレベルは1つしかありません。どういう形での報告になるかわかりませんが、お知らせするつもりであります。

それから今後の対策ですが、この事案そのものの対応に教育委員会は全力を挙げておりますので、そこまでまだ検討しておりません。民間業者をいれて学校の危険性をチェックしていくというようなものも含めて、予算がかなり必要になってきますが、トータルな形できることを検討し考えてまいります。

意見：この事件を聞きまして、対策とか、教育長をはじめ学校長がやっていただくということなのですが、このお子さんのケアという部分で被害児童のケアが必要かっていうことも言われていたのですが、そういう話を聞いて、ショックを受けている子どもたちのケアをできるのは小学校だけではないと思っております。家庭でぜひ、何か変わったことがあれば、一番近くにいる親御さんから見ていただいて、上手くケアしていただかないと、学校に来ているときだけお話できても、学校に相談窓口があったとしても、なかなかそれが言い出せない子とかいるかとは思っていますので、お願いといいますか、PTA の立場で学校側と協定を結んでいるわけではないのですが、そういう一緒の気持ちで、お子さんを見守っていただいて、寄り添っていただいて、それでこの難局をともに乗り越えていくってということではいかがでしょうかと思っています。小林校長がこんな苦勞している姿を私は見たくありません。ぜひお願いしておきたいと思っております。

Q14 中学生に対してのケアとかも入る予定はあるか、お伺いします。

⇒19日の金曜日、緊急臨時町内校長会を開いております。中学校についてはスクールカウンセラーが常駐しています。不定期ではありますが、中学校の場合、各校1名固定した臨床心理士がおりますので、自校から心のケアを指導しているところでございます。

Q15 今のうちの子は、学校に行くのが怖い、そして先生からこのニュースの詳細を聞くのが怖い、そしてまたニュースを見るのも怖いという状態になっています。インターネットやSNSとかいろんなもので、顔写真だとか、小谷小学校の名前も出て

いるのですが、登校するのも怖いけど、お休みをしたら、自分がその被害に遭った子なんじゃないかっていうふうに思われるものも怖い。家でのフォローももちろんしていますが、どう対応するのが保護者としていいのか悩んでいるポイントがあります。内心やっぱり怖いと言っているので、ちょっとどうしていいかなって思うのですが、校長先生にお話をして欲しいのでご意見をください。

⇒(校長) 多分そういう子は結構いると思います。学校には普通に来るかもしれないし、普通に過ごせるかもしれないけれどももうちに帰ったときにやっぱり辛いとか怖いとか、例えば明日であれば、先ほどの読み上げは、私または教頭の方で話をする事になっていますが、それがちょっと聞くのは嫌だというところがありましたら、前もって学校の方へご連絡ください。この話をするのを聞かないという選択肢もあると思います。それから、県から来るスーパーバイザーの方が、心理教育とって、このような事件のときにどんなふうに子どもたちが考えたらいいかについて明日話していただけることになっています。しかし、低学年だと、それはちょっと伝わらないかもしれないけど、3・4・5年生のところには明日その話をして、こういうときに自分の考え方はどうしたらいいかということ、子ども向けの話をしているところもお願いしてあります。心理士の方が明日、明後日、来ていただける方と、向き合えるような時間を設定していきたいと思いますので、個別にご連絡ください。3日間しかないので、十分かどうかわかりませんが、ひとつひとつやっていきたいと思っています。

Q16 保護者がどうやって接すればよいかについての答えではないと思うのですが。学校の中ではできますけど、言えない保護者はどうやって言えばいいのか。

⇒(校長) 学校の中で相談をさせていただいてそれからお話をしていくっていうところができますよというところです。保護者の方々も、明日以降どう接してあげるかっていうところの相談を受けることができるようになっていきますので、保護者の方からも相談をしていきたいと思っています。

Q17 まず1点目が、新たな事実が発覚した場合、どのタイミングでどのように保護者に説明があるのか教えてください。

⇒これは規模や人数によりますが、大人数が見るサイトっていうのでしょうか、あるフォルダーから出てきたということが起こった場合は、このレベルの説明をもう1回します。ただ、もう一人とかっていう場合は、そのお子さんの保護者さんのところに連携して十分説明をしていきながらケアをすると、そういう形になるかと思っています。

Q18 二つ目なのですが、今回録音録画できないということで、私は保護者への証拠

というか、書面として残していただきたいというふうに考えます。こちらはいかがでしょう。

⇒来られない方もいると思いますので、全文がそのまま、何ページかもわかる形でできるかわかりませんが、概要のレベルでは少なくともお示ししたいと考えております。

Q19 携帯に関しての対応、対策が正直言って甘いなというふうに思います。私の職場では遮蔽袋の中に入れて、必ず封をする、必ず抜き打ちで点検する、何重にもチェックしています。他の業種とかも含めて対策しているところがあります。それを含め、学校として学んでいただきたいと思います。

⇒ありがとうございます。先ほども申し上げた通り、スマホの対策については、今後いろいろな他地区、他業種を含めて研究させていただいて、取り組みを行って参りたいと思います。

意見：(保護者)最初の部分で、繰り返しになって申し訳ありませんが逮捕された方は、この前の学校とかもろもろで問題行動はなかった、小谷小学校の時も特に、問題はなかったというお話だったのですが、保護者の方とか、友達とか知り合いとか、たくさん問題行動について心配があり、やっぱりおかしいと思っていたよとか、いろんな声がありました。それについて、本当に把握できていなかったなという問題があると思います。把握してなかったとしたら、それはそれで、かなり問題だなと思います。再発防止がこれから一番大事になってくると思うけど、わいせつ事案の研修をやったという話がありましたが、保護者ベースではいろいろな問題になっていると思います。おかしいなと思うようなところがあつた先生に対して気づいてもいない。対応していない。結果としてこのようなことをスマホでもあるのですが、結局やっぱり先生方の倫理とかモラルがしっかりしていない、毎回全く一緒だと思う。こういった先生の倫理の研修とかの話がなかったのと、教育委員会が問題に関しては把握してないことが怖いなと思っています。そうするとまた同じことが起きるのではないかと。本当に把握してなかったという再確認しても出てこないけど、先生も全然見えないのではないかと感じてしまう。保護者の気持ちとちょっとずれているのはちょっと逃げだと思っています。しっかりと確認したいということです。

二つ目は、これも意見なのでやれというわけではないのですが、やはり6年生を卒業した子たちへの対応、紙だけですか、正直私は思う。本当に子どもたちのケアを考えたら、小谷の卒業生って70人ちょっと。明日、管理職で回ったら一人10人位。訪問すればいいじゃないですか。なぜ説明会を開くから、来てもらうという考えなのか。教員や教育委員会側が出向けばいいじゃないですか。言

っていることとやっていることが違うのではないかというのは率直に思います。ただこれをやればいいんじゃないので、私は率直な今の説明聞いたときに思い、これを受けとめて欲しいなと思います。

⇒(教育長)藤井教諭についてはですね、これまでの説明のお答えの中で指導課題がなかったわけではありませんというふうに申し上げております。性的事案に関するゾーンの問題の報告を教育委員会は受けていないということを行っているだけであって、授業や児童生徒指導上の指導課題がありました。それを学校内で指導支援をしたり、指導主事が指導し、教育委員会、学校長が指導したりすることはありました。ですから把握し、指導を行っておりますので、それについてはご承知おきいただきたいと思います。

Q20 学級崩壊があったとか、そもそも教員としてどうなのかっていうところがありました。この点を加味して異動し、支援級に配属された時点で怒りを感じています。なぜそういう人を配属したのか、指導が必要になった教職員の再アセスメントやその時の指導やケアというところがどうなっているかをお聞きしたいです。

⇒通常学級の教員の配置については、個別にこの人はこうだからこっちに置いてということだけではないです。高学年、中学年、低学年、特別支援学級に特性を持ってどういう人をどこに置くことがベストフォーメーションなのかということで配置をしております。

5 閉会

- ・ 今後も不安な点があればいつでも学校や教育委員会にご連絡いただきたい。